



## 読書の時間 感想特別号

高体連中、学校では読書の時間があり、

1,2年生は一時間、読書に取り組み、  
読んだ本の感想や印象に残った文章を  
書き出してもらいました。

次に読む本の参考にしてくださいね。



東野圭吾さんや住野よるさん、阿部智里さん、  
新海誠さん、5分後シリーズの本を読んでいる人が  
多かったように思います。

他、『ハリーポッター』シリーズも何人かいました。

中には、「この本を読むのは〇回目です」とか、  
「何度読んでもおもしろい」とお気に入りの本を  
繰り返し読んでいることを書いてくれている  
人もいました。

### 『詩的私的ジャック』 森博嗣著

私は森博嗣さんのS&Mシリーズが  
好きです。この本はシリーズの  
4冊目でどんな本かとても楽しみに  
していました。まだ第一章しか  
読んでいませんが、事件解決に  
おいて動き始めたところなので  
この先どうなるかとても楽しみです。

(1年)

### 『あの花が咲く丘で、 君とまた出会えたら。』 汐見夏衛著

今から70年ほど前にある女の子が  
タイムスリップしたお話。

その当時、お国のためにとけがをしても  
「大丈夫 大丈夫」と何もかも我慢  
しなければいけなかったので  
おかしかった。 (1年)

### 『死神の精度』 伊坂幸太郎著

私はこの本を読んで、物語に吸い込まれる  
ような気分になりました。なぜなら、見事な  
比喻が多く使われているからです。  
「彼女の声は濁った沼の面で泡が破裂する  
音のような、じめじめとした小声」や  
「足元で地面が舌なめずりをするかのような  
音が鳴る」など想像させるような文章が  
多くあります。だから私はこの本が  
印象に残りました。(1年)

### 『羊と鋼の森』 宮下奈都 著

調律師はどのような仕事をするのか  
どのような学校へ行って技術を学べば  
いいのか分かった。調律したピアノの音や  
客が弾くピアノの音など様々なピアノの音が  
景色で表現されていてピアノの音が想像  
しやすかった。調律師一人一人のピアノに  
対する想いを感じ取ることができた。(1年)

### 『ぼくはイエローでホワイトで、 ちょっとブルー』 ブレイディみかこ 著

「楽じゃないものがどうしていいの？」  
大人はどちらか選択を迫られたら「楽じゃない  
方を選べ」とよくいう。しかし、何故苦しい方  
を選ばなければいけないのか。そのような常識  
について問われる奥が深い本だった。(1年)



### 『青くて痛くて脆い』 住野よる 著

性格の全く違う人同士でも関わる時間が  
増えることで相手のことを受け入れられる  
ようになっていく主人公の姿や心情を  
感じる事がおもしろかった。また、その  
心情が深く細かく説明されていて、より本の  
内容に入り込むことができた。(2年)

### 『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見 夏衛 著

親や学校すべてのものにイライラしていた  
百合が、母とのけんかで家をとび出し、  
防空壕で寝ていると目覚めた頃には  
戦時中にタイムスリップしていたという  
お話です。いつもイライラしていた百合が  
戦時中、生きておられたやさしい人たちに  
かこまれて考えがかわっていったり  
戦争に対する考えも深まりおもしろいです。  
(1年)

### 『夏への扉』

ロバート・A.

ハインライン 著

猫のピートが冬になると家にある  
いくつもの扉のどれかが夏に  
通じていると固く信じている  
ところだけでほっこりできた。

(2年)



『ひとりの時間が僕を救う』パーカー著

この本は一人での時間の大切さや、著者であるパーカーさんのとてもおもしろい様々な考え方がわかる魅力的な本でした。一人で何かについて考え込む、想像することが好きな私にとってはとてもおもしろく思いました。“自分にとって何が大事なのか。どんな生き方がしたいのか。ひとりの時間がその答えを教えてくれるはずだ。”という文章がとても心に響きました。(2年)

『青の数学』王城夕紀著

この本は主人公がE<sup>2</sup>というネット上の場所で数学を使って決闘する内容だった。本能だけで問題を解いていたため初めは勝てていなかったが、理論がわかるようになり勝てるようになっていった。個人的には本の内容で素数が無限にある理由を知ることができたのでよかった。(2年)

『この恋は世界でいちばん美しい雨』宇山 佳佑 著

「雨って誰かが大切な人を想って降らす“恋の涙”という言葉がとても印象に残った。(1年)

『僕はロボットごしの君に恋をする』

山田悠介著

21世紀でロボットが普及している世界でロボットを操作する主人公と幼馴染みの咲がロボットごして恋を進展させていく話で細かい動きや心情が表れており頭の中にはっきりその描写がうかんできておもしろかった。(1年)



『罪の声』 塩田武士著

この本は映画化される本ということで前から読んでいました。あと少しで読み終われそうです。物語のあらすじは自分が日本を震撼させた脅迫事件に関係があるのではないかと疑いはじめた男と記者がそれぞれ事件について調べていくという話です。二人の関わりは少なめですがすごくおもしろいです。(2年)

『流浪の月』 凧良ゆう著

自分の中の当たり前が他の人の当たり前とは異なることがよく分かった。家出した主人公と大学生の出会いが主人公の人生を大きく変えたのだと思い、すごいと思った。常識というものは実際ないのかもしれないと感じた。(2年)

『おのぞみの結末』 星 新一著

星新一さんのショートショートは読みやすいえに世界観が独創的でおもしろいと改めて感じました。ちゃんとしたオチが用意されていて一つ一つの話を読むごとに満足感を得られました。この一冊では、「ひとつの目標」「親しげな悪魔」という作品が自分のお気に入りです!(1年)

『窓ぎわのトットちゃん』

黒柳 徹子著

小林先生が、別れぎわに言った「また逢おうな!」「君は、本当はいい子なんだよ」が印象に残りました。この言葉があったから、黒柳徹子さんは今も輝き続けているのだなと思いました。(2年)

『そして誰もいなくなった』

アガサ・クリスティー著

兵隊島という謎の島に集められた犯罪経験がある10人がそこで起こるミステリーを解決するという話でした。最初から推理が多くとてもおもしろい本です。読み進めるうちにめくる手がとまりませんでした。(2年)

『糸』 時海 結以著

登場人物の漣と葵が運命的な出会いを何度も繰り返す物語。読んでいて涙が流れてしまったり泣くところがあるところもあり、恋愛好きにはオススメ☆場面を「映画」のように想像すると臨場感が湧いてきて面白い!(1年)

『オリジン 上』 ダン・ブラウン 著

主人公の教え子が人類最大の謎を解き明かす発表をする直前に殺されその謎を主人公が解いていく過程の展開が予測不可能でとてもおもしろかった。また、話には実際の宗教団体など現実世界ともリンクするところがありより一層おもしろかった。(1年)

おもしろそうな本は見つかりましたか?学校図書館の本は貸し出されてないけど、読まれている本があったので、学校図書館の利用はなくても、読書に親しんでいる様子がかげえました。何度も読み返したい本は手元に置いておきたいものですよ。ちょっと違った本を読んでみようかなと思ったら、ぜひ学校図書館へ。ご来館お待ちしております。